

野菜づくりのポイント

生育状況により適した管理

～。～。～ 障害 と 対策 ～。～。～

○えだまめ

障害	症状	原因	対策
湿害	生育不良、葉の黄化	低湿地や長期間冠水が原因	排水路の点検
連作障害	収量低下、病害	病菌密度の増加	3年以上のは、避ける
未熟莢 1粒莢	1粒や実入り不良	開花後期の養分不足、過繁茂が原因	適正な栽培密度

○さといも

障害	症状	原因	対策
二段いも	だるま状のいも	一時的衰弱があり回復して肥大するのが原因	地上部の乾燥しすぎに注意する。

○ばれいしょ

障害	症状	原因	対策
二次成長いも	コブいも、出目いも	成熟後、多雨による茎葉の再成長が原因	十分な培土を行う
エグ味いも	エグ味を感じる	緑化いもや長蔵時に光が当たって出やすい。	土寄せによる緑化防止、収穫後の保存に注意

○トマト

障害	症状	原因	対策
グリーン・パツ果	へたから実の肩に緑色が残り酸っぱい。	草勢が旺盛、乾燥気味管理	極端な乾燥管理は避ける。
空洞果	果肉部とゼリー部の間に空間がある。	生育パツス、根障害多肥栽培、高温、光線不足で、助長される。	着果数と草勢のパツス

○ねぎ

障害	症状	原因	対策
葉の先枯れ	葉先が枯れる	湿害、肥当り、肥切れ、土壌の酸性、土のしまりすぎ、乾燥、強風害などが原因	排水対策、水と肥料の適正管理
草姿の異常	ア. 濃緑で生育不良 イ. 丈が伸びない	ア. リンサン不足 イ. 乾燥又は多湿	ア. 初期ほどリサが必要 イ. 土づくり。